

2008 年度

科目名 環境と社会（総合講座）B	対象学科・学年 文学部全学科 2 回生 人間社 2 回生	担当者 堂丸 隆祥
授業テーマ 環境をまもる科学の知恵		
授業の概要と目標 20 世紀以後の科学技術の急速な発展により、人類は便利で豊かな生活を手に入れる一方で、資源・エネルギーの大量消費、有害化学物質の環境への大量放出などにより、地域的な公害だけでなく地球規模での環境破壊を引き起こすに至った。この講義では、幾つかの重要な環境問題についてその科学的な因果関係を学ぶことにより、現在および今後の身の回りの環境問題に対して自ら判断する力を養うことを目標とする。		
評価方法 出席状況と学年末テストの成績		
テキスト 必要に応じてプリントを配布する	著者	出版社
参考書 明日の環境と人間	著者 川合真一郎 山本義和	出版社 化学同人
授業スケジュール・内容 1. 科学技術の発展と環境問題（講義の目標および後期の講義概要） 2. レイチェル・カーソン「沈黙の春」からの警告 3. グローバルな環境問題Ⅰ—地球温暖化、オゾン層の破壊 4. グローバルな環境問題Ⅱ—酸性雨と森林破壊、海洋汚染 5. 大気汚染—光化学スモッグ、エアロゾル 6. 知ってほしい身の回りの化学—水の化学と水循環のプロセス 7. 水質汚染公害—水俣病、イタイイタイ病 8. 廃棄物問題—産業廃棄物、アスベスト 9. リサイクルと循環型社会 10. 食品の安全性—遺伝子組み換え食品 11. 生態への影響—農薬、環境ホルモン 12. 資源とエネルギーⅠ—原子力発電、核融合 13. 資源とエネルギーⅡ—次世代エネルギー 14. 環境保全 15. 自然との共生（後期講義のまとめ）		